

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2008-29031(P2008-29031A)  
【公開日】平成20年2月7日(2008.2.7)  
【年通号数】公開・登録公報2008-005  
【出願番号】特願2007-231731(P2007-231731)  
【国際特許分類】

**H 0 4 Q 7/38 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月7日(2008.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

専用チャンネル媒体アクセス制御(MAC-d)フローの許容組合せ(allowed combination)の中から、MAC-d フローの 1 つの組合せを選択し、かつ該選択した MAC-d フローの組合せをエンハンストアップリンク媒体アクセス制御(MAC-e)プロトコルデータユニット(PDU)に多重化するように構成された MAC-e エンティティを備えたことを特徴とする無線送受信ユニット(WTRU: Wireless Transmit/Receive Unit)。

【請求項 2】

各前記 MAC-d フローの許容組合せは、サービス品質(QoS: Quality of Service)要件を維持することを特徴とする請求項 1 に記載の WTRU。

【請求項 3】

優先度の低い MAC-d フローよりも前に、優先度の高い MAC-d フローを処理するようにさらに構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の WTRU。

【請求項 4】

前記選択した MAC-d フローの組合せが、エンハンストアップリンク(EU: Enhanced Uplink)に関する残存電力を超えた場合、トランスポートフォーマットの組合せ(TFC: Transport Format Combination)の許容セットから、EU TFC を除外するようにさらに構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の WTRU。

【請求項 5】

前記選択した MAC-d フローの組合せにおける MAC-d フロー群は、チャンネル割り当てを要求することなく、送信するように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の WTRU。

【請求項 6】

前記 MAC-d フローの許容組合せのセットであることを示す信号を受信するようにさらに構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の WTRU。

**【請求項 7】**

前記 M A C - d フローの許容組合せのセットであることを示す前記信号は、無線ネットワークコントローラ ( R N C : Radio Network Controller ) から、無線リソース制御 ( R R C : Radio Resource Control ) プロシージャを通じて受信される

ことを特徴とする請求項 6 に記載の W T R U。

**【請求項 8】**

1 つの M A C - d フローについての前記 M A C - d フローの許容組合せのセットは、該 1 つの M A C - d フローについての最小のペイロードであり、該 1 つの M A C - d フロー以外の M A C - d フローについてのデータは送信されない

ことを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

**【請求項 9】**

前記 W T R U が、電力が制限された状態にある場合に、前記最小のペイロードの前記 M A C - d フローの許容組合せのセットを送信するようにさらに構成されている

ことを特徴とする請求項 8 に記載の W T R U。

**【請求項 10】**

送信時間間隔 ( T T I : Transmit Time Interval ) 当たりの、M A C - d P D U のデータサイズおよび数は、最大許容データレートを表し、かつ M A C - e P D U の少なくとも 1 つの M A C - d フローから設定される

ことを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

**【請求項 11】**

前記 T T I 当たりの M A C - d P D U の前記数は、ビットレートに対応する

ことを特徴とする請求項 10 に記載の W T R U。

**【請求項 12】**

前記 M A C - d フローの許容組合せにおける 1 つの M A C - d フローからの前記 T T I 当たりの M A C - d P D U の前記数を示す信号を、R N C から受信するようにさらに構成されている

ことを特徴とする請求項 10 に記載の W T R U。

**【請求項 13】**

M A C - d P D U の前記データサイズおよび前記数は、データレートに対応する

ことを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U。

**【請求項 14】**

各前記 M A C - d フローは、保証ビットレートを提供する

ことを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U。

**【請求項 15】**

各前記 M A C - d フローの許容組合せにおける前記ビットレートに対応する、M A C - d フローからの M A C - d P D U の前記数は、R R C シグナリングを用いて設定される

ことを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U。

**【請求項 16】**

R R C シグナリングを通じて、各前記 M A C - d フローからの M A C - d P D U の前記データサイズを決定するようにさらに構成されている

ことを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U。

**【請求項 17】**

除外された M A C - d フローの組合せに関する送信電力要件が、E U に関する残存電力を下回った場合、前記選択した M A C - d フローの組合せを、前記 M A C - d フローの許容組合せのセットに戻すようにさらに構成されている

ことを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U。

**【請求項 18】**

前記 M A C - d フローの許容組合せの中から、組合せの最小セットを定義し、かつ送信電力が制限されている場合でも、前記組合せの最小セットを送信するようにさらに構成されている

ことを特徴とする請求項 1 7 に記載の W T R U。